

環境行動実績

※対象範囲：ロジスティード(株)及び国内連結グループ会社（17社）

行動計画と目標；脱炭素に向けた全社環境負荷低減活動の推進

NO.	目的	活動内容	2023年度 注1)	
			目標	実績
法令の遵守（条例等を含む）				
1	資源循環促進	廃棄物（一般、産業）等排出物の適正管理 ・廃棄物処理法 ・各種リサイクル法への対応	法令違反の発生なし	法令違反の発生なし
2	環境管理レベル向上	関係法令の遵守 ・省エネ法 ・温暖化対策条例 ・フロン排出抑制法 ・PCB特別措置法 ・浄化槽法 ・自動車NOx・PM法条例等	法令違反の発生なし	法令違反の発生なし
脱炭素に向けた取組み				
3	地球温暖化防止	建屋（電気）から排出するCO ₂ の削減	前年度比▲2%	▲11.2%
4		車両（燃料）から排出するCO ₂ の削減	前年度比▲1%	+2.2%
		CO ₂ 総排出量、グループ合計		▲6.6%
		2023年度 CO ₂ 総排出量：97,091トン (CO ₂ 総排出量本部Gr別内訳) ①東日本統括本部Gr : 43,963トン ②西日本統括本部Gr : 30,934トン ③本社管轄 : 1,423トン ④パンテックGr : 20,771トン		
5	物流サービスに落し込んだ環境対応強化	モーダルシフトの推進	新規顧客/新規ルートの開拓推進	福岡県から愛知県への自動車部品輸送の船舶モーダルシフトの事例等
6		共同輸送の推進	プラットホーム化、配送拠点集約、ラウンドユース等による輸送効率化の積極的な推進	マザーセンター設置によるBtoB中小規模配送網効率化等
環境負荷の低減				
7	廃棄物の生態系への拡散防止	廃棄物の生態系への拡散防止	再資源化率 注2) 99%	再資源化率 注2) 99%
		(グループ合計) 2023年度廃棄物発生量：32,286トン (廃棄物発生量本部Gr別内訳) ①東日本統括本部Gr : 14,501トン ②西日本統括本部Gr : 11,692トン ③本社管轄 : 377トン ④パンテックGr : 5,716トン		
8		水利用の効率化推進（水使用量の原単位低減） 〔前年度比〕（水使用量/延床面積）	▲1%	±0%
		(グループ合計) 2023年度水使用量 : 303,338m ³ (本部Gr別水使用量内訳) ①東日本統括本部Gr : 181,309m ³ ②西日本統括本部Gr : 87,941m ³ ③本社管轄 : 12,732m ³ ④パンテックGr : 21,356m ³	2023年度水使用量床面積原単位 : 0.076m ³ /m ² (本部Gr別水使用量床面積原単位内訳) ①東日本統括本部Gr : 0.084m ³ /m ² ②西日本統括本部Gr : 0.069m ³ /m ² ③本社管轄 : 0.184m ³ /m ² ④パンテックGr : 0.048m ³ /m ²	

	資源循環促進	脱プラスチックに向けた環境対応の促進	代替材料の導入(リデュース)、使い捨てしないくみの検討(リターナブル)、再生利用(リサイクル)、自然環境に拡散しない方法での廃棄(分別、処理フローの確認)等	左記を実施	
		使用済みプラスチック廃棄物の排出量、再資源化等の量、再資源化等率 注3)			
9		会社名	排出量	再資源化等の量	再資源化等率
		ロジスティード株式会社	21.1	20.9	98.7%
		ロジスティード東日本株式会社 ※	972.9	972.9	100.0%
		ロジスティード中部株式会社	228.5	228.5	100.0%
		ロジスティード西日本株式会社	217.4	203.9	93.8%
		ロジスティード九州株式会社	39.2	39.2	100.0%
		ロジスティード北日本株式会社	53.8	47.0	87.3%
		ロジスティードコラボネクスト株式会社	40.3	25.1	62.4%
		ロジスティードケミカル株式会社	7.4	7.4	99.6%
		バレネット株式会社	0.2	0.2	100.0%
		ロジスティード東日本流通サービス株式会社	2.0	2.0	100.0%
		株式会社バンテック	44.7	44.7	100.0%
		株式会社バンテックイースト	97.9	95.1	97.2%
		株式会社バンテックセントラル	228.1	227.2	99.6%
		株式会社バンテック九州 ※	274.5	274.5	100.0%
		常盤海運株式会社	2.2	2.2	100.0%
		ロジスティードエクスプレス株式会社	20.6	20.3	98.4%
		ロジスティードソリューションズ株式会社	0.0	0.0	—
		ロジスティードオートサービス株式会社	19.9	19.9	100.0%
		※印 = 多量排出事業者(250トン以上)に該当			
10	生物多様性と生態系の保全	環境を意識した調達の推進		グリーン購入率 注4) 85%	グリーン購入率 注4) 78.6%
11		コピー用紙使用量削減(森林資源保護)(前年度比)		▲ 1 %	+4.4%
教育・コミュニケーション					
12	環境コミュニケーション促進	事業所環境活動の活性化		従業員一人一人の環境意識の向上と環境活動活性化	左記を実施
13		環境に関する社会貢献活動等の推進		社外清掃活動等への積極的な参加、ライトダウンの実施(年2回)等	左記を実施
14		環境広報活動の充実(情報開示と発信の強化)		環境関連表彰への応募、環境広告宣伝、情報開示等	社外表彰3件受賞 注5) 社外HPへの情報開示
15	環境意識向上	環境教育の充実		eラーニング受講率 99%	eラーニング受講率 89.0%
環境マネジメント					
16	環境管理レベル向上	CO ₂ 排出量の把握と削減施策の推進		拠点のCO ₂ 排出量の把握 (CO ₂ 予算管理システムの活用)	左記を実施
17		環境負荷実績データの管理と精度向上		データ収集の精度向上 環境負荷調査システム、TICS活用	左記を実施

注1) 目標値および実績はロジスティードグループ連結ベース

注2) 再資源化率=(再利用+再生利用・熱回収量) / 廃棄物発生量

注3) プラスチック資源循環促進法にもとづく「排出事業者による目標設定・情報公表」として、

国内関連会社のプラスチック廃棄物排出量、再資源化等の量および再資源化等率を公表する。

注4) グリーン購入率:E-sourcing Mall(電子購買システム)にて購入した事務用品のうち、エコ製品の比率。

注5) 社外表彰受賞実績

(1)2023日本パッケージングコンテスト「テクニカル包装賞」「大型・重量物包装部門賞」をダブル受賞

(2)第24回物流環境大賞「特別賞」を受賞